

'71

会報



THE ROTARY CLUB
OF TSURUOKA

鶴岡ロータリー

第 592 号

1971.3.2 (火)

四つのテスト

—言行はこれに照してから—

1. 真実か、どうか
is it the truth?
2. みんなに公平か
is it fair to all concerned?
3. 好意と友情を深めるか
will it build goodwill and better friendships?
4. みんなのためになるかどうか
will it be beneficial to all concerned?

会報はご家族みんなで読みましょう

例会場 鶴岡市本町二丁目 ひさごや
事務所 鶴岡市馬場町 商工会議所内 ☎ 5775

〆 隔りを取り除こう 〆

出席報告

本日の出席	会 員 数	61名
	出 席 数	45名
	出 席 率	73.77%
欠 席 者	阿部(襄)君、長谷川(文)君、 早坂(徳)君、橋浦君、五十嵐 (伊)君、海東君、金井君、金 野君、小野寺君、廖君、齋藤 (栄)君、齋藤(信)君、佐藤(昇) 君、笹原君、津田君、藪田君	
前回の出席	前回出席率	59.02%
	修正出席数	49名
	確定出席率	80.33%

メークアップ

上野君—福島 RC
藪田君—天童 RC
林君、新穂君—酒田 RC
長谷川(文)君、早坂(源)君、
五十嵐(一)君、黒谷君、小花君
三井(徹)君、佐藤(昇)君、佐
藤(忠)君、手塚君—鶴岡西 RC

ビジター 松田善三郎君、羽根田正吉君
五十嵐卓三君—鶴岡西 RC

ゲスト 弟子丸泰仙氏
Arnaud DESJARDINS氏
Jacques DELRIEU氏

会員誕生

荒明勝君、長谷川悦郎君、五十嵐伊市郎君
齋藤栄作君、齋藤信義君、佐藤昇君、佐藤
忠君、手塚林治君、大川喜一君

奥様誕生

早坂保江様、五十嵐甲様、嶺岸豊子様、
齋藤貢様

1月100%出席 42名

阿宗君、阿部(公)君、阿部(襄)君、安藤君
張君、長谷川(悦)君、早坂(源)君、林君、
飯白君、池内君、石井君、石黒君、五十嵐
(三)君、五十嵐(伊)君、五十嵐(八)君、海
東君、金井君、上林君、黒谷君、小花君、
小池君、今間君、嶺岸君、三井(徹)君、三
井(賢)君、三井(健)君、小野寺君、大川君
廖君、齋藤(栄)君、佐藤(伊)君、佐藤(昇)
君、佐藤(忠)君、鈴木(善)君、新穂君、鈴
木(弥)君、高橋君、手塚君、富樫君、上野
君、鷲田君、藪田君

会長報告

10周年誌を送付したところ、元会員の福島
さんから礼状が届いており、またそのときに
スマイルとして金円をいただいているので、
スマイルボックスに入れさせていただきませ
う
手塚林蔵さんから、過日退会したいという
申出があり、理事会に諮って承認しました。
会員数が更に1名減じたので、是非共新会員
獲得増強に努力をねがいます。

はっきりした事は不明ですが、西多賀ベッ
ドスクールでつくった映画を上映すること
になりました。会場は決ってませんが、共催に
ついての要請を受けました。今日の理事会で
共催を決めたので御了承ねがいます。

フランスに禅を布教される方々の紹介

五十嵐卓三君

突然本日のプログラムに飛入らせていた
だき有難うございました。早速御紹介申し上
げますが、正面におられる坊さんは、弟子丸

泰仙先生であります。この方は、かつて、外務省関係の仕事をなされて、亜細亜協会の常務理事をなさっておられ、藤山愛一郎さんと共に仕事をなさっておったのです。しかし一念発起して坊さんになり、四年前にフランスのパリーに参られ、ソルボンヌ大学を中心とし、禪即ち座禪の布教にあたった方でありす。

全くの単身の布教で、現在フランスを中心とし、ヨーロッパ各地に60ヶ所の道場を設けられ6万人の会員を擁して座禪を布教されているえらい方です。

その隣におられる方は、Arnaud DESJAR DINS 先生で、フランス国立放送局のスタッフであり、殊に宗教の時間の解説者で、更に記録映画の世界的権威者といわれています。その一例として、チベットの秘境をさぐるという提題のもとに、それが一大センセーションをおこしたそうで、今回は日本に2ヶ月に亘りフランス政府の委嘱を受け、日本の禪をさぐるという取材に参った方です。

それから次におられる方が、Jacques DE LRIEU氏で、技師の方です。従って、日本の禪をさぐるということで、これをヨーロッパに紹介される任務をおびてお出でになったのであります。以上簡単に御紹介いたします

座禪とヨーロッパ布教について

弟子丸泰仙氏

ここにお集りの方々は、ヨーロッパのことをよくご存じの方が多いと思います。

幹事から、ヨーロッパの最近の事情と、禪について少し話しをしてくださいと申しました。禪について余り認識していない方もあるかもしれないので、そのような話をしてくれとのことですが。しかし時間が限られているので、両方の話しを充分にするには出来ません。それで思いついた儘をお話いたします。

私が今回こちらに参ったのは、Arnaud 禪師、この方は先程紹介されましたが、宗教評論家としても立派であり、有名でもあり、この方が日本の禪をさぐるということで、私がフランス政府から頼られて、昨年12月こちらにとども参ったのであります。そして殆んど全国の禪寺を回って歩いております。

今回善宝寺に参り、山形県に立寄りたいたいとのこと参ったのであります。山形県にきて日本の本当のいいところをみたような気がすると、二人でしきりに申ししているところです。

大平洋岸と日本海岸と歩き、両方のお寺を回っており、お寺ばかりでなくホテル旅館に泊っております。大平洋岸に比べると日本海岸の方が人情がこまやかで、ホテルも親切だと言っております。これを東京と東京より北国に分けますと、北の方の特に山形県の方が今まで行ったうちで一番いいと言っているところです。今晚一晩泊り明日東京に行き更に

京都から神戸の方のお寺へ行くことにしております。

フランス人と日本人は、非常に似ております。どこが似ているかという点、繊細なところが似ています。日本では西洋人というと、アメリカ人も、ロシア人も、ヨーロッパ人即ちドイツ人英国人イタリ人オーストラリア人スペイン人皆ごっちゃに考えております。特にアメリカ人とヨーロッパ人は、うんとちがっております。西洋文明化或は近代化することとは、日本ではアメリカナイズされることを言っているようです。私はヨーロッパに行つて、つくづくそう考えております。殆んど文化が東京でもアメリカ化されていること。それをヨーロッパの人が非常歎いているのです。特にフランスの人が、日本の繊細なところがなくなつてきて、アメリカ化されてきていることを歎いております。ヨーロッパ文化の中でも、フランスは非常に繊細なデリケートなセンスをもっており、日本の古来の文化、例えば茶の湯とか、生花とか、そうした日本人のもっている極めて繊細な文化に対して大変な尊敬をもっているのです。パリは花の都で、パリは世界の芸術の中心地になっておるのですが、これはやはりフランス人の繊細な心が影響して、ああいう風な芸術が発達してきているのです。それ以上に、日本の古来の文明は、特に芸術はフランス以上だと認めております。これはもうフランス人の何人もそう言っております。

お茶や花ばかりでなく、日本人の心そのものが、昔から非常に繊細があったのであります。これが、今回の戦争をきっかけに、悪いところのなくなったのはいいですが、若人は殆んど日本の伝統的なセンスをなくし、アメリカナイズされているのです。文化にしてもすっかりアメリカナイズされております。

これに対しヨーロッパ人は、大変惜んでおります。それで今度一緒された方も、アメリカ化したホテルには泊りたくないと言っております。なるべく日本の旅館に泊り、なるべく日本化したものをみてゆきたいと云っております。

映画の方もそういうものを撮りたいと言っております。今までのようなユネスコの様にアメリカから紹介された、或いはアメリカからヨーロッパにきたようなものと、禪についても日本文化についても知っていたのであるが、直接日本をみたいと望んでおります。

一例として卑近な例をとりますと、汽車の食堂車で、食事をするとしても殆んど西洋料理ばかりで、何で日本料理がないのかときかれております。たまたま幕の内弁当一つあったのでそれをいただきましたが、食堂車で何故洋食ばかりかときかれ、私も返答にこまりました。それで汽車の中は不便なので、洋食

はつくるには簡単だが、日本料理は繊細で細いので汽車の中では造りにくく、便宜上、汽車の中では洋食をつくってるだろうと答えました。

それで、私が洋食をたべ、相手が幕の内弁当を食べているという恰好になりました。

日本人は、特に日本の子供は自家にベッドがないと、どうもハイカラでないという感をしているようですが、向うの人は畳が非常によいと言っております。私は今度も東京の豊会社と契約して、相当数の畳を注文しました。最近では軽い畳も出来て、船で運ぶにもいいので沢山向うに持って行くことにしております。この畳が、素晴らしいと向うでは言っております。こういういいところを、日本人は段々と忘れてきております。

そういう意味もあって、当地では善宝寺さんのお善意で、大山町の農家の家にお世話になり、そこの家の仏壇とか神棚とかといったもの、それに昔からの雛祭をみて、沢山のお雛さんがならんでるのを非常に素晴らしいと云って写真におさめて参りました。

これらのものを現像して、パリで試写会をやったならば、チベットの秘境をさぐる以上の批判をとることは必至と思います。

日本の宗教の時間（放送）というのは、一番のきかない5時から6時頃即ち人が眠っている頃にやっているけれども、向うの宗教の時間は日曜の午後1時から長いときは4時までやっております。2時から4時までであったり、1時から4時までであったりして、殆んど日曜の午後は宗教の時間で占られております。この一面をみても日本が如何に文明にいけないか、いかなればエコノミック・アニマルといわれているようですが、これは本当に私達が向うで日本をみると、そういう感じがいたします。

日本が何故あのように立派な精神文明もちながら、エコノミック・アニマルと云われるようになったのか。これは高度成長して、GNPが世界第2位になっているということで、一つの大きな驚異のため、とも言えます。あながち私は、経済の生長が悪いとは言いませんが、これをつまづかないで保持して行けばいいのですが、必ずその裏付けに精神文明がなければ、どこかで物質文明というものには減びるに決っております。物質文明が永久に残っているところは、どこにもありません。

精神文明の裏付があるからローマの文明もパチカンがあるから今でもあそこにローマの文明が残っているのです。

キリスト教も裏付があるから、ヨーロッパの文明も今でも科学文明、物質文明が残っているのです。そういうところは私は考えて行かなければならないでないかと思っております。

す。

日本では仏教はすっかり古くなって、坊さんという、しょんぼりして葬式屋みたいになってしまっております。本当の仏教というものはそんなものではありません。仏記するというところは自由ということで、サスクリットで、心の自由ということであります。で、お釈迦様は当時の古い印度の伝統的文化を、もう一つ進歩的なものにかえられて仏教が出来たのです。それでも印度は次第に駄目になったから龍樹菩薩とか、じゆしん無着という菩薩型の方が出てこられて、大きな精神革命をやって大乘仏教というものが出来たのです。それでも印度は今でも階級組織のひどいところですが、そういう風に伝統に固執している国だから、あそこには、乞食が大変多いことになっております。

それで達磨禪師が、これでは印度は駄目だということで、何とか本当に人類の世界に残して行かなければならないということで、支那に渡って、唐宋時代に、非常に高度の文化が発達した支那で禅を伝えたのであります。

それが後に道元禪師とか栄西禪師とかが日本にもってきて、日本人の繊細な日本的なものと融合して、日本独特の禅というものが発達してきたのです。

禅についてヨーロッパでは、すごく高い評価を下しております。日本では禅というと、座禅をし、禪寺というと随分古い寺位に思っておりますが、向うでは新しい文化になっておるのです。

禅は、座禅は、非常に新しいもので共産主義よりも新しく、サルトルの実存主義など今頃は問題でも何でもないのです。サルトルの実存主義など今頃問題にされておられません。

サルトルは私のところに座禅にきます。サルトルの弟子達は皆、うちのパリの禅堂に座禅にくるものだから、サルトルも仕様がなくして転向してこなければならぬようになったのです。ドイツのヤスパーサーなども、私に座禅を教えてくれときております。ハイデッカーなども私に座禅を教えを受けにきております。

禅は岡倉天心の茶の本でも、鈴木大拙あたりでも大分本を書かれておりますが、禅というものは知識だけでわかるものではなく、むしろ知識ではないのです。

私はヨーロッパに最初渡るときンベリヤ鉄道で参りました。金がないので、横浜の原良三郎さんも今はなくなられたのですが、そこに行き先代の供養をして、そこで般若心経一回読だら20万円ヨーロッパ行きの旅費に使って下さいといわれて呉れました。私は松永安左工門さんの秘書を若いときにやった（沢木興道老師に18の時に居士の座についたのが坊さんになった契期で、その時すぐに坊さんに

してくれと私が大学を出てから云ったら、職業坊主などつまらぬ。今の儘でいいから座禅だけしておけ。座禅だけすればいいということで社会の経験をいろいろといわれ、そうしておったのです。そんなことで、松永安左工門さんには、沢木老師から紹介されて、その秘書を3~4年やったことがあります。)関係で、ヨーロッパに渡る前松永さんのところに行き、原良三郎さんのところに行って20万円いただいたと話したら、俺もその位出そうということでしたが、出す段になって秘書が半分に値切ったという笑話もあります。それから日本化薬の原安三郎さんのところに行ったら、元々あの人はケチで有名な人で、(あの人もからえば、経団連の方々も右にならえをするような人です。)すが、こんなに厚い礼束を呉れたので私はびっくりしました。

それで大分金が余ると思っていたら、女房が、ヨーロッパに行くなら借金を払わぬとあとが困るということで、借金を払っていたらあとが足らなくなると、借様がなくてシベリヤ鉄道で行くことにしたのです。

このような恰好で、破れ衣を着て本当に禅一貫でナオトカに上陸してから、鉄道でハバロフスクからイルクツクまで10日間位かかって行きました。こんなことをしたらくたびれると思って、あそこからモスクーまでは飛行機で行きました。

モスクーに行ったら、共産党の清田という男と会いました。清田は日本から大変にらまれている男で、日本にはもう帰れぬと亡命していた人です。これが私を訪ねてきて、貴下みたいな日本人らしい日本人には会ったことがないということで、非常になつかしがられました。

ソ連でも、精神文明を非常に研究しているので、私に対してモスクーにとどまって呉れぬかと、要請を受けました。しかし共産党のために殺されたら大変と思ひ、座禅位教えるし、またそのうちくる機会もあるだろうし、明日からポーランドを通過して旅に出なければならぬと言って、断りました。

それからポーランドを経、ドイツを通過してパリについたのです。パリにつくと私を招待してくれるという人が居ったので、どこか道場でも世話してくれぬかと私が云いました。その頃私は裏町のコンクリートの上で座禅しておりました。一人で座禅しても飯だけは食えるし、玄米のめしだけ食っておりました。おかゆを焚いてです。そのように毎日朝から晩まで座禅をしていると、若い連中がぼつぼつ毎朝私にならって座禅にくるのです。これは脈があると思ひ、更に続けて座禅しておいたら講演してくれといわれたが、フランス語が出来ないので、拙いながら英語は少ししゃべれるので、心臓を強くして行ってやろうと

思いました。東洋美術館ミジエギネというところでやったのですが、そこには一ぱいになる程聴衆がきており、昔タゴールとかマックスセローという有名な東洋の哲学者や宗教学者が、また鈴木大拙さんなどが講演をやったところで、そこで講演が当るといっておかしいのですが、うまくいって、一躍世界的に有名なようになりました。そこには日本人の通訳もきておりました。大使館から紹介された人がきておったので、誰だろうときいてみたら私は大谷というのですとした。

大谷といわれると、西本願寺とか、東本願寺にゆかりがありますが、それらにご関係がありますかと同ったら、私は東本願寺の法主の息ですといわれ、この方が大谷順願さんだったのであります。未だ若くてソルボンナ大学に4年ばかりきておられ、フランス語はうまいし、仏教連盟代表という名刷をみたら、私は一介の乞食坊主に過ぎぬので、向うは大変な連枝という名刷をもっており、あなたに通訳していただくのは申訳ないと思縮しました。しかも私は座禅のことを話さなければならぬのですが、迷惑だろうといった意を表したら、そんなことにはかまわんで下さいということでした。

それで、一つ通訳におねがいしようということになったのですが、最初禅とは座禅をしなければならぬと、座禅をすることが禅だということから話をしていきました。

座禅をしないで座禅はわかりません。熱いか寒いかということは、コップの水を外からみてはわからないと同じです。指をつっこんでみればじめてわかります。座禅もやはりしてみなければ禅というものはわかりません。

禅というものは、あなたたちが、一杯ある本を読んでも、いくら講演をきいてみてもわかるものではありません。座禅をしてみなければ禅というものはわからないものです。本当に禅を理解するには、一晚でも善宝寺さんに行って、座禅でもやってみれば大抵成るほどこんなものかということが解ってきます。

私は、向うに行くとき新聞記者が一杯きます。禅とはどういうことかとか、悟とはどういうことかとかとききにきます。これに対し悟とは損することだといいますが、相手がびっくりします。ここのロータリアンの前で、こんなことを云うとびっくりするかもしれないが、世の中というものは得することだけです。ところが得しないことを悟と云っております。悟ということは、無所得空と云います。

善宝寺さんで、大般若をやっている600巻の中に何を書いてあるかということ、あれは空という事を書いています。せんじつめれば般若心経の空なのであります。その空のうちには22の種類があるので。もっとも最高の

空は、無所得空で何もならない空であります。

得せぬことだ、損することだと私は云っております。得することだと云っていくら悟ろうとしても悟ることは出来ません。

大抵人間の頭では、得することを考えております。得しないことを考えるときに悟があるのです。これが本当の悟だと私は云えます。すると新聞記者の方が、そんなに皆が損して先生がいうような悟が、皆が悟るということは特別な境地になることかときかれますが、そうではなくもっともノーマル・コンディションになることだと云っております。子供みたいな人間本来の元々のもっとも純真な気持ちに帰ることを称して悟るというのです。そんなことになったら新聞記者が飯の食い上げになりますよ、といひます。それに対して心配するなと云っております。日本では石川五右衛門という盗人が「浜の真砂が……」といっているんだから心配しなくてもよろしいと言ってやりました。そしたら翌日きて言うには、先生歴史辞典をひいてきたのですが、石川五右衛門という名前はなかったと云っております。それでヨーロッパの歴史辞典には、国を泥棒したり、侵略したりする西洋の泥棒でない辞典にはのらないのではないかと云ってやりました。そしたらセッサ、セッサといっております。セッサ、セッサということば、そうだ、そうだということです。フランス人は頭の回転がいいからすぐわかるのです。

そういうわけで、私の一番始めの講演のときは壇上にどかっと座り、これが禅だと云ったのです。座禅の姿勢を組んで堂々と座ったら、そこはうしろからみえないから、前の前壇のところに座って呉れとのこと、大きな演壇の上で結跏趺坐をし座禅をして、そこで黙々とし、これが座禅であるということをやったのです。

これには花の都のミュージー・マダムもど肝をぬかれました。それでも通訳の大谷さんが居られるので少しはしゃべらねばいかんだろうと思ひ、ぼつぼつ話をし出したのです。

フランスにきて好きなものは何かと、よくフランス人はききます。フランスにはどこにもナポレオンの銅像があるので、私の好きなのはナポレオンと云ったら、日本人は戦争が好きだなあ、ナポレオンは戦争ばかりしていたから日本人も好きなんだなあと云ってしまいました。そこで、俺の好きなのは、コニャックのナポレオンだと云ってやったら、こいつは非常に私を好きになられました。先生ははなせるという訳で、それからコニャックを毎晩一本づつ買ってきてくれました。日本で買えば2~3万円するようなコニャックで、香港で売ると、まずいコニャックでなく

て本当のコニャックをもってきてくれました。

そんな調子で、私は笑わせながら禅を布教したのです。私が笑うと、身ぶり手ぶりで笑うと、話はわからなくても通じるころがあり笑っております。それを大谷さんが通訳すると、あの方は皇太子殿下の従兄にあられる方で、貴族的な顔をしている方です。大谷さんは、私の話を真面目に通訳されても、聴衆はちっとも笑わないのです。私の日本語でよく笑ひ、あとの通訳で笑わないという状況で、これでは通訳も入らないなと思うようになりました。その後段々下手な英語でやるようになり、そのうちにフランス語をおぼえてきて、フランス語と英語と日本語をチャンポンにした、何だか訳のわからぬ言葉を使うようになりました。

しかし、その言葉が案外通じるんです。禅というものは、それを不立文字以心伝心と云って、元からなるべく言葉を使わないようにしております。それで達磨さんも言葉を使わんで印度で布教したのです。達磨さんも渡ったときは、言葉が解らなかつたのでしょう。支那語が復活したのです。それだけしゃべらんでいい。

近代の教育は、しゃべり方などばかり教えて、特に代議士なり、県会議員に出ようとする人達は、しゃべることを一生懸命にけいしてあります。そう云うことをやらなければ出来ないような日本に近頃はなつてきております。しゃべるのうまいのが、どこでも会長になったり、大抵リーダーになっております。坊さんでも同じで、中身がなくとも雄弁である人が大い押しがきくようになりなす。

禅はなるだけしゃべらぬことにしております。達磨も、座禅を中心とした生活をしたということで、なるべくしゃべらなかつたのです。しゃべらねばならぬときは、何とかこれを徹底しなければならぬというようなしゃべり方をいたします。

ただ近代の教育は雄弁ばかり奨励し、沈黙の教育をしてないから、子供がおおよそ能弁で、親と子供と喧嘩をする、大抵子供の方が勝っている状態です。これは段々頭が進んできているから、理屈を云うと親父の方が負ける訳です。お袋なども大抵やつつけられる状態です。これは雄弁の教育で指導しているからです。沈黙の教育をしなからず。

禅というのは沈黙の教育をやるのです。その代り、しゃべるときは絶対一発命中するという言葉を使うのです。だから不立文字以心伝心といつても一発で命中する、人の肺腑をえぐるというような言葉を考えて出していくのです。ですから小さい詞というものが発達してきたのです。そういうことで世も伝えられ

(B)

てきております。だから私も一発で命中する英語もフランス語も大抵おぼえてきております。大抵トモナトナンと私が云ったら、私の心から、あなたの心へと、この言葉が、私の6万人の信者会員の言葉になっております。私の心からあなたの心へ—— 本当に私は、何か書いてくれといわれるとトモナトナンと大抵書いております。しゃべってくれと云われても、もう面倒くさくなるので以心伝心だからと云っております。そうするとあとは言葉でわかってくれます。フランス人は感がいいからすぐわかってくれます。いろんな場合日本は勝っていると思っても、勢いだけいだけで、劣るところがあるから大抵負けてしまいます。見通しがきかなかったり、どこでけじめをつけたらいいか知らなかったりする。これはヨーロッパの人々に比べて感じていることを云うに過ぎません。

私が何万人の人をも教育しておりますが、ヨーロッパの人に禅を説くときは、非常に早くわかります。以心伝心でパッパッと禅がわかっていくのです。

日本人に対しては一生懸命説明しないと解らない。頭の回転の方はヨーロッパ人の方がよくて、その代りバイタリズムがないようです。日本人はバイタリティーは盛んです。しかし頭の回転が劣るような気がします。これは学校の成績がよいということではなく、秀才になるというように云えます。秀才になるようなものは大抵頭の回転が悪いと思われまう。こういう人が政治を動かし、東大出でというような人が大抵殆んど大臣になっております。私は以前政治にも関係がありましたが大抵日本の政治は余り感心したことをやっているとは私は思いません。これは外国に行つて外国に比べての見解です。外国では余りにも官僚政治になり過ぎていると思います。大抵もっと感のいい政治をやつて行くことが将来の日本未来の文明構築のために私は必要じゃないかと思うのです。私は経済や政治を非難するものではありません。これは精神文明と物質文明が融和したものが、今後の文明にならなければいけないと思つております。

物質文明万国博のモーターによれば、進歩と調和と云いますが、物質文明の進歩を精神文明によって調和して行く。この進歩と調和があつて、両者がなければならぬと思ひます。

私は、今日の日本の人々は経済的に非常に裕福になり、どんどん生長して行くことは大変よいことと思つております。一面古来の日本のもっている繊細なこうした禅といったような、日本民族固有の、禅が入ってくる前から日本には素晴らしい心の細道という言葉があつて万葉にも出てきます。これが日本の道元禅師にも正法眼蔵にも、支那からきたどつ

腹の太い禅が加つて日本独特の禅が出来てきて、ヨーロッパ人がみると、素晴らしいと感心するようなものになってきているのです。これを今までのヨーロッパ中心の文明を、また世界観を捨てて、東洋を含んだ世界観をここに樹立しようというのがヨーロッパの人達の考えのようであります。

ソ連の共産主義もたいしたことはない。アメリカの文化は、アメリカインディアンと変らぬような荒っぽい文明で、消費文明で、これは物質文明の代表的なものと云えます。これではいけません。それでもヨーロッパの物質文明、科学文明だけではいけません。これにはとうを含んだところの世界観を樹立してここに新たな文明を未来20世紀に向つて精神文明と物質文明と融合したものを樹立して行くというものが、ヨーロッパの学識者達の考えていることであります。

日本も皆さんのように立派なロータリアンの方々、しかも東北の本当に静かな残された日本的なところに折角おられるのです。だからそういう日本の独特の精神文明の心の保存とか、或いは日本の禅とか、或いは農村に伝つてきている本当の純粋で純粋なもの一つなくされないでいただきたいものです。そうしたものの融合したものを日本の文明として押出して、東京におつたり中央におつたりする者に対し、常に監視役となつて、日本の文明をあらゆるように、皆さん方からやつていただきたいと思ひます。

時間の関係であまり纏まりのない話ですが以上をもって私の話を打ち切りたいと思ひます。

会長から

次期会長からの要請があつたので、前の次期会長指名委員の方から一寸お残りしていただき、御協議ねがいます。

幹事報告

1. 会報到着
米沢RC、尾花沢RC、会津坂下RC、藤沢RC
2. チャーターナイト案内
余目RC 5月5日 余目第2小学校体育館
登録受付 12.00~13.00
式録 13.00~14.00
祝宴芸能 14.40~16.00
登録料 4,000円
岩出山RC (宮城県) 6月6日
嬉野RC (佐賀県) 5月16日
男鹿北RC 5月9日
三春RC 4月29日
八戸北RC 5月9日
浜松北RC 5月30日
3. インターシター・ミーティング案内
4月1日(木) 山形市 産業会館 6、7階
登録 PM0.30~1.00
協議 PM1.00~2.00
懇親会 PM2.00~3.20
登録料 3,000円
4. 例会場変更
最上RC 3月中のみ 向町二葉食堂 6.00~

会報が到着しました